

認知症 三二講座 ⑧

周辺症状 妄想 その2

「妄想」は、過去にあった出来事が関係しています。その出来事が、現実にはありえない出来事と結びつき、内容が徐々に大きくエスカレートしていきます。周りの人がどれだけ間違いを訂正しても、考えを変えることができないのが特徴です。



被害妄想

例えば、「認知症」の方は、徐々に会話の理解ができなくなり、老人会の集まりや、家族との夕食後のひと時など、話の内容についていけなくなり、話の中に入れなくなっていくことで、「のけ者にされている。自分はいろいろな人間だ」と被害的になります。また、会話の中で自分に話をもちかけられた時、話が理解できないために間違った返答をしてしまいます。もちろん、周囲の人は、間違いを指摘するでしょう。「認知症」の方はそれを「ばかにされた」と被害的に考えるようになり、周囲の人が話をしているのを見るたびに「自分の悪口をいっている」「私をいらんでいる」など、どんどん「被害妄想」は大きくなっていきます。このように、ちよとした周りの言動や仕草が原因で「妄想」の症状はひどくなってしま



嫉妬妄想

「嫉妬妄想」とは、自分を一番に思っているほしい身近な方や、配偶者に対して向ける「妄想」です。「認知症」の方は、大事な人が自分を無視して他の人と楽しく会話していたり、自分をおいて外出したりするのを見て、「自分をないがしろにしている」と被害的になります。それがだんだん「浮気をしている」と嫉妬の感情になるようです。また「認知症」の方が若い頃、配偶者に対して表に出していないう、押さえ込んでいた感情が「認知症」になったことで「嫉妬妄想」になる場合もあります。また「嫉妬妄想」はだんだんと言動や行動が暴力的になることも多く、周りがどれだけ否定し説得しても、全く聞き入れなくなってしまう

認知症の方がその人らしく生活していくために

「妄想」の症状が出てくると周りから孤立し、今まで以上に社会的交流が困

難になります。家の中に引きこもって、症状も悪化していくことでしよう。家族は日々その対応に追われ、「認知症」の方を優しく受け入れたくても、できなくなってしまう

現在は様々な種類の介護サービスがあり、「認知症」の方を専門的に受けられる「認知症対応型のサービス」もあります。このようなサービスを利用することにより、「認知症」の方の居場所が増え、症状は緩和できます。また、家族の方の悩みや不安を共感できる職員や、同じような悩みをもった家族と関わる機会ももてるでしょう。「認知症」の方が外に出る機会となり、家族も安心して生活ができるよう、ぜひ、サービスを利用することを勧めます。

坂井きらめき 石川陽子

認知症対応型のサービスなどについてお気軽にお問い合わせください



お問い合わせ先 15 ページコールセンター

第11回理事会だより

2015年4月27日

協議・議決事項

①3月度事業・活動・経営報告

3月度の事業高は19億2,000万円、経常剰余金は6,000万円になりました。

②第37回通常総代会議案関連

(1) 2014年度決算報告並びに剰余金処分案
14年度の事業高は21.5億2,000万円、経常剰余金は2億2,500万円、2期連続の増収増益となりました。

剰余金処分については、8,000万円を組合員還元(出資配当:0.2%、利用割戻し:0.37%)、8,200万円を法定準備金および目的積立金に、2,300万円を次期繰越金とします。

(2) 定款の一部変更の件

電力の小売事業構想に備えて、また、生活困窮者への自立相談支援事業および家計相談事業の実施に向けて、定款の一部変更します。

③役員人事関係

役員改選にあたり、全体区役員推薦委員会から推薦された役員候補者を確認しました。

【4大活動の状況】

2015年3月31日現在

	実績	計画比	前年比
組合員数	14万4,428人	102.4%	103.3%
出資金	87億2,026万円	100.2%	102.6%
共済加入	7万1,042件	100.1%	100.7%
事業高	215億2,084万円	100.4%	103.3%
無店舗	116億2,037万円	98.8%	99.0%
店舗	80億8,325万円	103.7%	108.1%
福祉	15億9,745万円	95.9%	114.0%
共済	2億1,976万円	99.0%	99.5%

※1万円未満は切り捨て